

鶴見川



流域センター

のご案内



さまざまな 流域情報がここから

京浜河川事務所遊水地管理センター

鶴見川多目的遊水地は、鶴見川が洪水のときに水を取り込んで「洪水調節」を行います。普段はイベントやスポーツなどを楽しむ公園として利用されます。この遊水地で洪水調節を行うとともに流域情報を発信するために整備されたのです。

センターの3、4階にあるのが「京浜河川事務所新横浜出張所」です。鶴見川の日常的な管理のほか、洪水調節の最前線で、河川情報をいち早く地域の人々に知らせるという大切な業務を行っています。

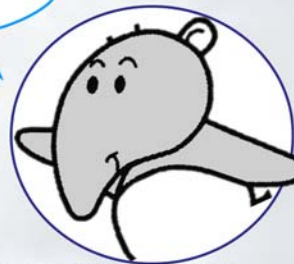
1、2階は流域の情報発信や総合学習の拠点である「鶴見川流域センター」です。流域の教育関係者、市民団体の意見を聞きながらつくられたもので、さまざまな展示や映像が楽しめ、情報交換、交流のほか総合学習にも役立ちます。

治水の大切さや自然環境、歴史など鶴見川をめぐるさまざまな情報がわかる、それが鶴見川流域センターです。

京浜河川事務所遊水地管理センター

3F・4F	京浜河川事務所新横浜出張所
1F・2F	鶴見川流域センター

鶴見川流域の情報が
いっぱいだよ！



どうしてバクなの？

東京都町田市にある源流から多摩丘陵をくだって東京湾に流れ込む42.5kmの鶴見川。その流域（雨水が集まる範囲）を上からみるとあらあら。源流が鼻で、河口部は後ろ足で……鶴見川流域はバクのかたちによく似ています。その面積は235km²。約196万人もの人が住んでいます。たくさんの人が住むバクの流域として覚えてください。

京浜河川事務所 遊水地管理センター

〒222-0036 神奈川県横浜市港北区小机町2081

■ 新横浜出張所（3F・4F）

TEL. 045-476-5003 FAX. 045-476-5004

■ 鶴見川流域センター（1F・2F）

TEL. 045-475-1998 FAX. 045-475-1999

- 開館時間 午前10時～午後5時
- 休館日 毎週火曜日及び年末年始（12月29日～1月3日）
その館管内設備点検日等（不定期）

※団体でのご利用の場合は事前にご相談ください。

国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所

〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央2-18-1

TEL. 045-503-4000（代）



- アクセス
- 電車利用の場合 JR横浜線 小机駅北口より徒歩6分
JR新横浜駅より徒歩20分
 - 車利用の場合 第3京浜港北インターより新横浜方面に向かい約3分
小机駅よりの徒歩経路

センターの紹介

鶴見川流域センターは、鶴見川流域の自然環境、歴史などにふれながら、交流や情報交換のほか、総合学習にも役立つ拠点として整備されました。

フロアにはバクのかたちをした鶴見川流域の航空写真。水族館で流域の生き物に出会うもよし。川の本を集めたライブラリーなど、川のことがいっぱいわかります。

まなぶ。あそぶ。みつける。わかる。・・・。バクの館・鶴見川流域センターは「ワクワク」と「ナルホド」が一度に味わえる場所です。

まなぶ

わかる

あそぶ

みつける



鶴見流域のことは
まかせてね！

1F

コミュニティールーム（学習会議室）

スクリーンを備えており、小規模なセミナーや発表会に最適なスペースです。



2F

マルチスクリーン

6面あるスクリーンには流域情報などのビデオやDVDの映像が流れます。



ライブラリー



屋上

遊水地を見渡せてその仕組みがわかります。受付へお申し下さい。



いろいろ・できる・こんなこと

いろいろできるんだなこれが！



鶴見川流域センターでは、学習プログラムの体験や鶴見川流域のさまざまな情報の提供を行っています。

- いろいろな流域学習が体験できます。
- 流域の総合学習に関する支援をします。
- さまざまなパネル展示を行っています。
- 鶴見川流域を空から見わたせます。
（床一杯に広がる流域全体の航空写真が見られます）
- 鶴見川流域で行われている、さまざまな市民活動やイベント、生きものなどの映像が見られます。
- 鶴見川にすむ魚と出会えます。
（水族館）
- 鶴見川多目的遊水地の機能と河川管理、総合治水がわかります。
- 治水の仕組みや治水の歴史がわかります。

洪水ハザードマップ



3D地図



パネル展示



鶴見川水族館

鶴見川流域にすむ、魚などの生きものを見ることができます。



流域マップ



ワクワクドキドキ
キウキがいっぱい！

遊水地模型

鶴見川多目的遊水地の仕組みが一目でわかる展示模型です。



玄関

